



2026年2月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月30日

上場会社名 株式会社YE DIGITAL 上場取引所 東
 コード番号 2354 URL <https://www.ye-digital.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 裕治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 緒方 博之 (TEL) 093-522-1010
 半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 2025年11月5日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年3月1日~2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	9,665	△4.1	643	△19.3	707	△17.4	441	△21.1
2025年2月期中間期	10,081	3.4	797	11.4	856	11.5	559	18.2

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 461百万円(△21.1%) 2025年2月期中間期 584百万円(15.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	24.46	23.14
2025年2月期中間期	30.69	29.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	13,477	7,324	50.1
2025年2月期	13,228	7,247	51.3

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 6,749百万円 2025年2月期 6,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年2月期	—	10.00			
2026年2月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	0.3	1,600	13.6	1,700	11.1	1,150	10.7	64.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	18,326,300株	2025年2月期	18,319,400株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	500,315株	2025年2月期	315株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	18,061,599株	2025年2月期中間期	18,237,902株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2025年3月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これにより、2026年2月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得の影響を考慮しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 2026年2月期 第2四半期(中間期)連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等が続き、景気は緩やかに回復しておりますが、米国の通商政策等による企業収益の下押しや物価上昇による個人消費に弱さもみられ、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

そうした中、当社グループが属する情報サービス業界では、生成A I等の新たなデジタル技術が社会や生活の中に広まってきており、企業においては、デジタル技術とデータを活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、人手不足の解消や生産性の向上につながる自動化等のデジタル関連投資は堅調を維持しております。

このような環境において、当社グループは、新中期経営計画(2025-2027)を策定し、プロダクト・サービスの機能的価値から顧客体験価値を軸にした事業モデルへの変革と、顧客や社会のDXやCX(カスタマー・エクスペリエンス)の加速に貢献することにより、「最高のエクスペリエンスを支援するデジタル・サービス企業」を目指してまいります。

2025年度は、その初年度として、市場や顧客のニーズを起点とした戦略的かつ効率的なマーケティング・営業活動と社内外連携による最適なソリューションの提案により受注の加速と拡大に取り組んでおります。また、前年度の品質性能問題を踏まえ、QCD(品質・コスト・納期)の厳守・安定化により、顧客信頼性・満足度の向上と製品・サービスの品質・利益向上に取り組むとともに、世界で急速に広がりを見せる生成A Iを開発工程におけるプログラミング支援や、会議の議事録作成など、各業務において最大活用することにより、生産性の向上・収益性の向上に取り組んでおります。

さらに、経営管理システムの刷新・強化と事業ポートフォリオマネジメントの強化によるデータドリブン経営の推進に取り組んでおります。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、前年度の受注減の影響で、売上高は96億65百万円(対前年同期比4.1%減)となり、利益面では、営業利益6億43百万円(同19.3%減)、経常利益7億7百万円(同17.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は、4億41百万円(同21.1%減)となりました。

② 事業別の状況

[ビジネスソリューション事業]

当事業では、ERPソリューションは、当社プライムでのビジネスDX推進・構築や新たな顧客開拓や案件獲得により前年同期に比べ増加しました。自動車製造業向けのビジネスシステム開発も堅調に推移しましたが、健康保険者向けシステム構築は案件が終了し、移動体通信事業者向け開発も前年同期に比べ減少しました。

その結果、売上高は78億34百万円(対前年同期比1.2%減)となりました。

[IoTソリューション事業]

当事業では、物流DX事業は、活発な引き合いや受注が続いておりますが、前年度の受注減の影響により前年同期に比べ減少し、インターネット・セキュリティ関連製品も減少しました。畜産DX事業、スマートシティ向けソリューションは前年同期に比べ微増しました。

その結果、売上高は18億31百万円(同14.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当中間連結会計期間末の流動資産は98億64百万円（前連結会計年度末比1億17百万円増）となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が2億62百万円、仕掛品が1億32百万円増加し、現金及び預金が2億22百万円、その他が52百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は36億13百万円（同1億32百万円増）となりました。これは主として、無形固定資産が1億53百万円、繰延税金資産が27百万円、その他が14百万円増加し、有形固定資産が65百万円減少したこと等によるものです。

この結果、資産合計は134億77百万円（同2億49百万円増）となりました。

② 負債

当中間連結会計期間末の流動負債は43億1百万円（同1億83百万円増）となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が1億30百万円、未払費用が71百万円、未払法人税等が63百万円増加し、その他が69百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は18億51百万円（同11百万円減）となりました。これは主として、退職給付に係る負債が11百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は61億53百万円（同1億72百万円増）となりました。

③ 純資産

当中間連結会計期間末の純資産合計は73億24百万円（同77百万円増）となりました。これは主として、利益剰余金が2億58百万円、新株予約権が1億18百万円増加し、自己株式が3億13百万円増加（純資産は減少）したこと等によるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より2億22百万円減少し、29億74百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及び契約資産の増加2億62百万円、法人税等の支払2億23百万円等があったものの、税金等調整前中間純利益7億7百万円、仕入債務の増加1億30百万円、減価償却費1億26百万円等があったことにより、4億92百万円（前年同期比9億29百万円減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出2億11百万円等があったことにより、△2億9百万円（同53百万円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出3億13百万円、配当金の支払額1億82百万円、非支配株主への配当金の支払額8百万円等があったことにより、△5億5百万円（同3億70百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期(中間期)連結会計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、通期の業績につきましても、現時点では、2025年3月31日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,196,971	2,974,598
受取手形、売掛金及び契約資産	5,621,836	5,884,330
商品及び製品	150,242	150,738
仕掛品	188,841	321,546
原材料及び貯蔵品	13,864	14,354
その他	593,323	540,381
貸倒引当金	△18,142	△21,828
流動資産合計	9,746,938	9,864,121
固定資産		
有形固定資産	1,078,171	1,012,792
無形固定資産	251,193	404,286
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	348,215	350,619
繰延税金資産	1,114,347	1,141,868
その他	689,527	704,131
投資その他の資産合計	2,152,090	2,196,619
固定資産合計	3,481,456	3,613,699
資産合計	13,228,394	13,477,820
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,530,544	1,661,513
未払費用	1,556,670	1,627,928
契約負債	488,256	495,079
未払法人税等	214,009	277,160
役員賞与引当金	40,500	21,000
受注損失引当金	—	400
その他	287,853	218,551
流動負債合計	4,117,834	4,301,632
固定負債		
退職給付に係る負債	1,531,714	1,519,815
資産除去債務	325,648	325,964
その他	5,700	5,700
固定負債合計	1,863,063	1,851,480
負債合計	5,980,897	6,153,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	749,135	750,608
資本剰余金	403,135	404,608
利益剰余金	5,732,284	5,990,887
自己株式	△91	△313,352
株主資本合計	6,884,463	6,832,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,328	7,544
退職給付に係る調整累計額	△102,288	△90,642
その他の包括利益累計額合計	△93,960	△83,098
新株予約権	440,961	559,230
非支配株主持分	16,032	15,823
純資産合計	7,247,497	7,324,706
負債純資産合計	13,228,394	13,477,820

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	10,081,834	9,665,909
売上原価	7,341,374	6,982,645
売上総利益	2,740,460	2,683,264
販売費及び一般管理費	1,942,920	2,039,613
営業利益	797,539	643,651
営業外収益		
受取利息	650	3,959
持分法による投資利益	22,642	22,247
補助金収入	19,500	30,000
保険解約返戻金	13,640	9,199
その他	8,459	2,757
営業外収益合計	64,892	68,163
営業外費用		
保険解約損	410	—
消費税等差額	1,773	295
固定資産除却損	2,946	1,628
自己株式取得費用	—	2,528
その他	903	—
営業外費用合計	6,034	4,453
経常利益	856,398	707,360
税金等調整前中間純利益	856,398	707,360
法人税、住民税及び事業税	232,855	289,527
法人税等調整額	57,861	△32,551
法人税等合計	290,716	256,975
中間純利益	565,681	450,385
非支配株主に帰属する中間純利益	5,944	8,590
親会社株主に帰属する中間純利益	559,736	441,794

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	565,681	450,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	△784
退職給付に係る調整額	18,621	11,645
その他の包括利益合計	18,674	10,861
中間包括利益	584,355	461,246
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	578,411	452,655
非支配株主に係る中間包括利益	5,944	8,590

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	856,398	707,360
減価償却費	132,124	126,965
株式報酬費用	134,175	121,208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,573	3,686
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,700	△19,500
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	24,573	23,984
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△18,888	△21,555
受取利息及び受取配当金	△650	△3,959
持分法による投資損益(△は益)	△22,642	△22,247
固定資産除却損	2,946	1,628
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	254,441	△262,493
棚卸資産の増減額(△は増加)	△168,056	△136,553
仕入債務の増減額(△は減少)	731,531	130,968
契約負債の増減額(△は減少)	24,358	6,823
未払費用の増減額(△は減少)	△21,701	71,257
未払消費税等の増減額(△は減少)	△123,737	△22,310
その他	△89,257	△30,611
小計	1,697,489	674,653
利息及び配当金の受取額	302	3,329
法人税等の支払額	△276,648	△223,335
法人税等の還付額	—	37,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,421,143	492,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189,369	△8,863
無形固定資産の取得による支出	△8,838	△211,700
資産除去債務の履行による支出	△53,400	—
敷金の差入による支出	△2,009	△1,135
敷金の回収による収入	97,270	1,822
その他	△6	10,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,353	△209,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△313,261
配当金の支払額	△127,017	△182,978
非支配株主への配当金の支払額	△7,500	△8,800
その他	179	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,337	△505,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,130,453	△222,372
現金及び現金同等物の期首残高	2,486,123	3,196,971
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△13,364	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,603,212	2,974,598

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得を、以下のとおり実施しました。

2025年3月31日開催の取締役会決議

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株
- (2) 取得し得る株式の総数 500,000株(上限とする)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.73%)
- (3) 株式の取得価格の総額 400,000千円(上限とする)
- (4) 取得期間 2025年4月14日～2026年2月27日
- (5) 取得の方法 信託方式による東京証券取引所での市場買付け

なお、2025年7月2日までの買付をもって、2025年3月31日開催の取締役会に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

これらの結果等により、当中間連結会計期間末の自己株式の残高は313,352千円となっております。